

幻に終わったヘレンケラー女史の保木野訪問

児玉温故会は、現在の遺徳顕彰会と同じく、昭和初期に児玉女学校を中心に活躍していた会です。その活躍した会報誌の第参号をご紹介します。内容はヘレンケラー女史を迎える準備のことが書かれています。

米国一流の思想家で盲聾啞三重の聖女ヘレンケラー女史が我が国へ来訪すると決定するや県観光協会で盲聖塙校の生誕地を有する我県へ来県なす様に運動をはじめた。川西知事の義兄三谷参事官も女史と同船我国へ来航中であつたので、無電で塙校生家へ来訪方を依頼して同女からよろこんで来訪する返電があつた。かくて知事閣下を中心に県一致の女史歓迎委員会が出来て、大体四月三十日女史が保木野の先生生家を訪れるプログラムが成立し、これに要する費用の割当等まで委員会編成されたのである。四月廿四日には児玉女学校に谷矢氏をはじめ郡内の歓迎委員が集まり女史来郡の方端の準備をなす。

温故會報

第参號



児玉温故會

その翌日は、ケラー女史来訪の準備と時間を正確にはかる為原泰一氏外二名と商工主事村上氏県観光協会主事今尾氏が午後四時雨中を侵してやって来た。歓迎委員は保木野にこれを出迎へなして種々打合わせをなし、四月廿六日谷矢足立両氏と自分と出県してケラー女史歓迎の打合会を開いた。その結果、距離の遠い為女子の健康を慮つて、墳墓へは代参、女史は浦和に於て講演をなすこととなつた。四月三十日小室牧師は午前九時本庄着、二人の随行と共に直ちに保木野の先生の墳墓に赴いてケラー女史の代参を行った。小室篤治氏はニューヨーク日本協会組合長で在米二十年、ケラー女史と最も親交があり、女史を日本へ講演行脚に志しめた人で、その案内役である。草花と香煙につつまれる先生の墓碑の前にうづくまって著書ヘレンケラー女史伝一巻をその墓前に納めて恭しく礼拝をなした。墓裏には高木真浄氏が珠数をつまぐつて立ててあるし、紋付羽織の宮守翁も侍立してゐた。芳賀博士の

撰文の記念碑や記念館を一巡して生家荻野武平方へ立よつて、小室氏はしばらく低徊去るあたはざる面持であつた。午前十一時から児玉高等女学校の講堂に満ちあふれた地方教育者、温故会員、高女生徒、児玉、金屋両校児童に対して、小室氏は約一時間ケラー女史の高徳と塙校を有する児玉郡の誇りについて縷々(るる)としてつべ、盲目者に対する慈善事業についてでも論及した。午後一時本庄発の列車に小室氏、金子足立中島の諸氏と荻野家一族、と乗り込み浦和の埼玉会館に午後二時半到着した。午後三時定刻には会館の中は約一万五千人の人で立錫の余地なき超満員で、壇上には日米の国旗が掲げられてあつて本庄中学吉川教諭執筆の検校暗夜に書を講ずる油絵もかざられてあつた。歓迎委員村上氏の挨拶につづいて小室氏のケラー女史紹介の辞が約一時間あつて、のち、知事官舎で休憩なしたケラー女史と女秘書トムソン女史は満面に笑を堪へ花束をかかへて、壇上にのぼつて、そして

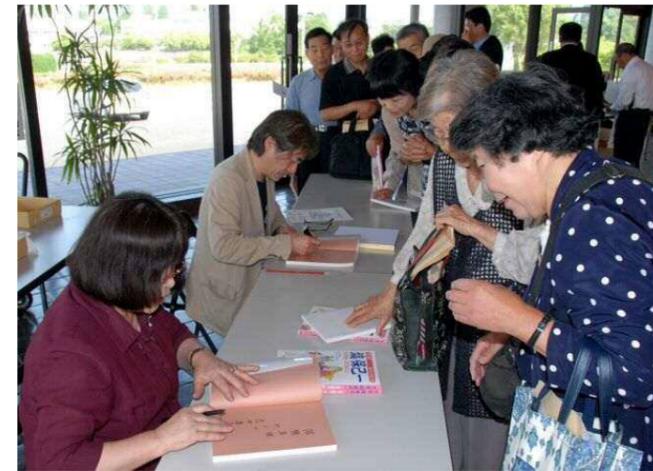
川西歓迎委員長の歓迎の辞について、女史とトムソン女史と通訳の岩橋氏は壇上に並び約四十五分間の講話があつた。指話法を用ひて、たへず指をはたらかせて対者の掌をうてば秘書はこれを英語でのべ、女史はこれを読唇術で唇と喉に手をあてて微妙なうごきのうちに触觉をはたらかせてゐるのである。岩橋氏は話のきれ目毎にこれを訳してゐた。女史は幼時の勉学の苦心をのべ、封者と独特の会話法を会得なしたことをのべ、先生の徳は水の流るゝ如く爽やかであるとのべ、盲目は不孝でなく、徳なきものが不孝なることをのべて、人類愛の道徳をのべた。満堂をゆるがす拍手のうちに講演をはりのち、さしまねかれ、塙先生第五代目の孫たる荻野武平氏夫妻長女セキ子さんは、女史とトムソン女史に握手され、頭から胸までさはられて血統を通じて両首聖の握手を見るの観があつた。

【金鑽生記】

出典「児玉温故会々報 第参号」昭和12年9月15日発行「ヘレンケラー女史歓迎記」より(抄)

平成22年6月12日(土)に総会がありました

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、6月12日に総会を開催し、平成21年度事業計画、決算報告及び平成22年度事業計画、予算等をご審議いただき満場一致でご承認いただきました。なおこの事業計画により事業を進めてまいります。



当日は、総会に引き続き、「マンガ塙保己一」の原作者の花井泰子先生による総会記念講演「塙保己一・子どもたちに伝えたいこと」が行われました。

塙保己一の偉業を子どもに伝えることの大切さをご講演いただき大変感銘を受けました。

また、総会終了後には、原作者の花井泰子先生と漫画家しいやみつなり先生のサイン会も行われました。

本庄市塙保己一記念館にある資料紹介

(6) 群書類従 和綴じ本

塙先生は貴重な書物が秘蔵され、散逸してしまうことを危惧し、41年の歳月と多額の費用をかけて「群書類従」(ぐんしよるいじゅう)を編纂(へんさん)し、木版印刷で出版しました。塙保己一記念館には、群書類従の和綴じ本が棚に展示されています。

版木は渋谷区の温故学会に保存され、現在でも刷り立てできます。

本庄市では、群書類従の中から「17か条憲法」と「竹取物語(かぐや姫)」の版木レプリカを作成し、啓発イベントなどに活用しています。



顕彰会の会員を募集しています

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、塙保己一先生の遺徳を顕彰し、幅広い啓発活動を行っています。まだ継続手続きをされていない方は会費の納入をお早めにお願いたします。

また、会員の皆様も、お知り合いの方をご紹介させていただきますようお願いいたします。



年会費

個人会員 一口 千円、 賛助会員（団体） 一口 一万円

入会と会費納入の受付場所

本庄市生涯学習課（中央公民館）と本庄市児玉文化会館（セルディ）で受け付けています。

本庄市役所4階文化財保護課と児玉総合支所2階総務課では、平日にお預かりします。

※ 郵便振替でも申し込みできます。

ご寄付のお願い

遺徳顕彰会は会員の皆様の会費により推進されておりますが、またご寄付も募っております。設立以後、徐々にご寄付も増えておりますが、今後もよろしくお願いたします。

会員数をお知らせします

	平成19年度末会員数	平成20年度末会員数	平成21年度末会員数
個人会員	923人	742人	667人
賛助会員（団体）	33団体	43団体	44団体

平成21年度末の会員数は、個人会員667人、賛助会員44団体です。

残念ながら、会員数は毎年減少し続けています。平成22年度は塙先生の業績を啓発して新規会員を増やしたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。



総検校塙保己一先生遺徳顕彰会のホームページ

<http://www.hanawahokiichi.org/>

編集後記

暑い日が続く毎日続きますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。特に今年の夏は一段と暑い日と感じます。事務局も一丸となって顕彰事業に取り組んでまいりたいと思っておりますので会員の皆様のご協力をお願いいたします。

発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課
本庄市児玉文化会館（セルディ）内

所在地 367-0216
埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851

FAX 0495-72-8854

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第8号 平成22年9月発行



総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 総会記念講演「塙保己一・子どもたちに伝えたいこと」
講師「マンガ塙保己一」原作者 花井泰子先生

ごあいさつ

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、6月12日に総会を開催し事業計画、予算等をご審議していただき皆様のご協力によりご承認していただきました。

この事業計画により事業を進めてまいりますが、会員の減少が進んでおります。顕彰会といたしましても事業部会を中心に会員数の増加などについて検討をしておりますが、会員の皆様には、今後も引き続き顕彰会へのご協力をお願いいたします。

今後、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では、塙保己一先生の命日である9月12日に塙先生の遺徳を偲ぶ遺徳顕彰祭の実施や12月18日の埼玉県塙保己一賞の表彰式にご協力させていただきます。顕彰祭では記念講演として講談師の宝井馬琴師匠を招きご講演を予定しておりますので、大勢の皆様のご来場をお待ちしております。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会
会長 吉田信解